

平成 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471901700	事業の開始年月日	平成15年2月1日	
		指定年月日	平成15年2月1日	
法人名	有限会社 ハピネス			
事業所名	グループホームゆりの花			
所在地	( 〒238-0031 ) 横須賀市衣笠栄町1-27 三富ビル4・6階			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	18名	
		通い定員	0名	
定員等	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	18名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成21年9月25日	評価結果 市町村受理日	平成22年2月3日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

集団生活の場にとらわれず、一人ひとりが自分のペースで過ごせるよう努め、その人らしさを大切にしている。一人一人の能力をスタッフが知り、その人が負担なく發揮できるように支援している。建物自体が狭いため、出来る限り外出（散歩・買い物）で気分転換を心掛けています。又、毎日10分位ですが、筋力維持・転倒予防のため、体操を実施しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社R-CORPORATION		
所在地	横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル 2F		
訪問調査日	平成21年11月17日	評価機関 評価決定日	平成21年12月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

**このホームの特長**  
 ①経営母体は(有)ハピネスであり、オーナーでもあるホーム長がご自分のお祖母さんへのケアに対する想いをこめて、この介護の会社を設立した。(有)ハピネスはこのグループホームの他、計3箇所のグループホームを持っていて、個人経営のオーナーがご自分の夢とポリシーをもって手作りで運営しており、血の通ったあたたかいホームの風土が醸成されている。ご利用者皆さんのケアは本人の意を尊重し、自由で尊厳を大切にしたいきめ細かいケアが展開されている。ターミナルケアに関するオーナーの姿勢は「長い間お世話をした方に退去してもらうのは忍びない」と言う気持ちであり、この気持ちが職員に伝わり、心のもったケアに繋がっている。ターミナルケアについては「考え方」「指針」「確認書」を準備しご家族に説明し、希望すればターミナルケアを受けられることが、ご家族の安心に繋がっている。ここは、オーナーの一家が元々住んでいた商店街の中での開所であり、祖父が町内会の役員なども務めていて地域との関係は極めて良好である。ゆりの花3グループホームは、合同で夏祭りには民生委員にバザーの作品作りを指導して頂き、夏祭りは3グループホームの家族、利用者、近隣の方などを招いて、盛大に実施している。②ケアに関してはICFによる展開も加味したアセスメントシート・カンファレンスにより手続き的なケアを心掛けている。併せて3グループホーム全体の研修計画を持ち、研修の充実を計り、ケアの向上に努めている。経営改善についても職員の意向を聞く体制が出来ており、業務運営会議とその下部会議である当ホームの常勤者会議を通じ意見の吸い上げに努めている。③防災については特に力を入れて取組んでおり、3グループホーム2名づつの代表による防災委員会が中心となり、防災訓練(年2回消防署の協力で行うものと毎月のもの)の実施防災新聞の発行、食料品等の備蓄、前述の防災連絡網と充実した展開を図っている。④医療については、医療連携体制を24H体制で取り、かかりつけ医による定期応診の実施、専任看護師によるケアが実施出来ている。終末期についても先に経験し、研修の積み重ねを通じて知識を深めるべく努力中である。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームゆりの花
ユニット名	1ユニット

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念「ゆっくり・一緒に・楽しむ・共に築く」をスタッフ全員が重視し、ケアに取り組んでいます。又、スタッフ入社時にはオリエンテーションを行い伝えている	全社の理念「ゆっくり・一緒に・楽しむ・共に築く」と6Fのフロアの理念「ゆっくり、あせらず、笑って過ごす」職員と共に作成したものをスタッフ全員が重視し、ケアに取り組んでいます。又、スタッフ入社時にはオリエンテーションを行い充分伝えている。カンファレンス時には、スタッフに言ってもらったりしている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くの商店街での買い物の時、挨拶や会話・町内行事に参加したり、ゴミ当番も交代で行っています。又、中学体験学習の受け入れも毎年行い、交流をしています	地元の商店街との付き合いを大切にし、近くの商店街での買い物の時に挨拶をしたり会話をしたり、町内行事に参加したり、ゴミ当番も交代で行っている。又、中学体験学習の受け入れも毎年行い、交流をしている。商店街の方との防災連絡網も出来ている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所会議、地域会議等を利用し、民生委員、地域代表の方々を通じ活かしている	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実際に利用者さんと食事作りや避難訓練に参加して頂き、そこで出た意見評価は、カンファレンスでスタッフに伝え、サービスの向上に活かせる様に協力しています	運営推進会議のメンバーは民生委員を中心とし、その紹介での地域代表ご家族とホーム関係者で行い、市の職員も参加することがある。メンバーには、実際に利用者さんと食事作りや避難訓練などに参加して頂き、ご指摘やご意見を頂いている。そこで出た意見評価は、カンファレンスでスタッフに伝え、サービスの向上に活かせる様に協力している。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	横須賀グループ協議会、地域会議にて密に連絡を取り合っている。又、市の主催する研修には必ず参加するようにしています	横須賀グループ協議会、地域会議にて密に連絡を取り合っている。又、市の主催する研修には必ず参加するようにしている。ホーム内研修は3事業所合同で行い、行政の人の話しなども加え実施している。この地域会議は活発で県の福祉事業所連帯事業補助の申請を行い、スタッフ募集の合同面接をその傘下グループホームで、またその費用で実施する等、活発に活動している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	精神的な部分も含め拘束をしないケアに取り組んでいる。又、なぜ禁止なのかを理解してもらう為、カンファレンス等で話し合い全員が理解した上できちんと取り組んでいます	精神的な部分も含め拘束をしないケアに取り組んでいる。禁止理由を理解してもらう為カンファレンス等で話し合い、全員が理解した上できちんと取り組んでいる。拘束を要するような事例に遭遇した場合、その行為・行動がどんな気持ちから起こったかを考え、その根本について対応するよう心掛けている。このような精神で、玄関の鍵はかけない薬は出来るだけ使わないケアに努めている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市の虐待防止の研修の参加など行い、学ぶ機会を設け、又、スタッフと間でも注意し合っています。スタッフの相談等も聞き入れられる。環境を作り、その様な事がない様に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用した事はないが、制度内容を理解している。活用できる場面があれば、支援していきたい。又、スタッフの理解度は低いと思います。研修参加・勉強していきたいと思います		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	質問・不安点等尋ねられれば、すぐに担当（ホーム長）に連絡し、対応しています。又、不安点の改善等は実際に防災について行い、報告し、納得して頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	機会を設けている。又、反映出来る様、努力している。事業所会議・外部評価などの機会を利用し、又、日々いつでもスタッフ管理者共に要望等聞き入れている。もっと外部へ表せる機会を増やしていきたい	家族が意見を言える機会を設けて意見に耳を傾け、反映出来る様努めている。事業所会議・外部評価などの機会を利用しながら日々何時でもスタッフ・管理者共に要望等聞き入れている。もっと外部へ表せる機会を増やす努力をしていく。家族会は敬老会と併せて年1回実施し、テーマを決めてご意見を伺っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年1回個人面談を実施し、毎月1回カンファレンスや主任会議・運営会議・常勤会議など機会を設け、意見を取入れ、反映させている	年1回個人面談を実施、毎月1回カンファレンス、主任会議・運営会議・常勤会議等機会を設けて意見を抽出し反映させている。また個別面接をホーム長、管理者の3者で実施している。面接は個人の今年の目標と個人のチェックシートを用い目安として作成し、面接の効果を上げている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務年数・日数・能力を把握し、本人が働きやすく、向上出来るように常に話し合いの場を設け、環境作りに努めている。又、資格支援制度を作り上げバックアップも行っている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加しやすい条件を整え、参加を促し、ケア向上に繋げている。また、独自の研修を実施、参加して貰っている。スタッフの力量や研修の必要性を考え、参加を促し研修報告や発表して貰っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ゆりの花主催の勉強会、他グループホームとの合同バザーを行い、交流する機会を作っています。GH協議会に加入し役員を行う。GH協議会が主催する研修も積極的に参加している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談や利用開始の段階で本人の要望を聞いて、不安を除く様に努め、スタッフにも情報を提供し、全体で本人が安心出来る様、環境関係作りに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時の面談・開始の段階で十分な話合いや、傾聴し、関係づくりに努めている。ケアプランにも反映させています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者に必要なサービスが提供出来るか、入所時面接にて本人・家族と話し合い、判断している。ニーズに応じて他のサービス、利用も支援している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームの理念でもあり、一方の立場に置かず、人と人と付き合いと言う観念を持ち、感情の変化を共有したり、生活を共に築くという関係を作りながら信頼関係の構築に努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との絆な関係を常に大切にし、ケアプランにも取り入れケア実施している。又、行事など提案し、参加してもらう機会を設けている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切に支援している。今まで、使用していた物をホームへ又は、これまでの生きてきた情報を収集し、ケアに生かし支援している。本人の馴染みの場所への外出支援も行っている。知人・友人との面会・外出も支援しています	今まで、使用していた物をホームへ又は、これまでの生きてきた情報を収集し、ケアに生かし大切に支援している。本人の馴染みの場所への外出支援も行い、知人、友人との面会・外出も支援している。習慣の継続では、煙草、飲酒などもある程度の範囲内で続けてもらっていて、近所の居酒屋へも職員同伴で行くこともある。誕生日等で希望があれば職員と1対1での外出も行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い人とのテーブルメイト調整・トラブルになりそうな時はスタッフが仲介に入り雰囲気作り、気分転換出来るように配慮している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	実施している。又、退所した家族がホームに遊びに来てくれる。他利用者にお花を持ってきてくれたりと関係を大切にしている		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	月1回のカンファレンスで利用者一人一人のアセスメントを行い、その人の思いや、暮らしを大切にし、プラン作りケアをスタッフ全員で検討し実施している	カンファレンスは利用者一人ひとりのアセスメントを月1回行い、その人の思いや、暮らしを大切にし、プラン作りケアをスタッフ全員で検討し、実施している。ご利用者のバックグラウンドを少しでも解るようにアセスメントシートによる充実を図り、心掛けている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	過去の生活歴・環境を考慮し、その人らしい生活を送れる様、努めている。入所時や日々の会話から常に情報収集に努めている。又、スタッフにも協力してもらい、新しい情報はすぐに個人情報に記入して貰っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の現状、状態に合わせ、日々の変化にも対応出来る様支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成している。カンファレンスにて、モニタリング評価し、プラン作成している。月1回のカンファレンスにてスタッフにアセスメントしてもらい、全員で検討しプラン作成し、実施しています	カンファレンスによりモニタリング評価し、プラン作成をしている。月1回のカンファレンスでスタッフにアセスメントしてもらい、全員で検討を行いプランを作成し、実施している。少しでも前進出来るような目標を定めてアセスメントシートでモニタリングしながら進めている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	些細な事でも記録に残している。又、情報収集義務がある事もスタッフに伝え、個人記録に目を通すことを伝えている。共有した情報から意見交換など行い、プラン作成に活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個人外出等、取り組んでいる。希望や本人の出掛けたい思われる所に外出出来る様に支援している。居酒屋・デパートバラ園・外出等		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ゆりの花全体で夏祭りを実施し、声をかけたり、町内会の番踊りに参加したり、商店街への買い物・散歩を楽しみながら生活出来るように支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時、本人及び、家族に決定して頂く。又、当ビルにも内科あり。定期的往診、必要な医療の提供を行っている	入居時に本人及び家族に決定して頂いている。当ホームのかかりつけ医である、当ビルの内科の定期的往診、必要な医療の提供をうける方がほとんどである。看護師は居住の方がいて細かい健康管理、医師との連絡なども行ってもらっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報提供している。利用者様の変化異常等あれば、常勤時報告、相談している。又、看取り時の点滴の協力もして貰っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院出来る話し合い、退院後の対応の相談等、行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	年に一度、家族・本人の意思を確認同意書を取っている。又、終末期には再度話し合い方針に決定している。揺れ動く家族の気持ちも柔軟に対応し、関係者とのパイプ役となるよう努力している	家族・本人の意思を確認同意書を年1回取っている。又、終末期には再度話し合い、方針を決定している。揺れ動く家族の気持ちも柔軟に対応し、関係者とのパイプ役となるよう努力している。看取りも3回程経験し、家族同様のお送りが出来るよう職員も研鑽している。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルも作成している。又、研修など行っている。急変等あれば、スタッフきちんと実施できている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ゆりの花3事業所にて防災委員会を設けている。毎月1回防災訓練、年に1回消防署員の指導の上、訓練実施し、民生委員・家族・地域の方に参加して貰っている	防災委員会は熱心であり、毎月の訓練を続けている。テーマも地震、通報、火災など運営推進会議のメンバーや消防署の方と一緒にすることもある。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常にスタッフに伝え、対応している。カンファレンスで話し合っている。又、一人一人の表現主張を大切にし、言葉掛けや対応を工夫している	常日頃からスタッフに伝えるよう努めている。また、カンファレンスでも話し合っている。一人ひとりの表現や主張を大切にし、言葉掛けや対応を工夫している。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるよう働きかけ、出来る限り、希望をかなえられるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人の状態・状況・意思に合わせ、本人のペースを大切に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	たとえそれが、一般的でない事でも、否定せず支援している。本人の希望する理容店にも同行し、協力している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	常に人生の先輩である事をスタッフ一人一人が意識して、教えて頂く姿勢で調理片付けを共に楽しみながら行っている。一人一人が安全においしく食べれるよう常に検討している	メニューは特養等のメニューなどを活用したり、独自のものを加えたりで、利用者の希望を入れたグループホーム初期の形態を継続している。地元の商店の配達、地元での買い物を活用し、地元との一体化を図っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分食事チェックを行い、管理している。又、本人の習慣好みを知り対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ホーム長が歯科医師でもあるので、口腔ケアは徹底されている。その人にあった形態で支援している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	常に心がけ実施している。排泄チェック表を活用し、一人一人の排泄パターンを把握し、定期的に声掛け誘導にて排泄自立に向け支援しています	排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄パターンを把握し常に心がけて実施している。定期的に声掛け・誘導にて排泄自立に向け支援している。尿(便)意は、はっきりしなくても失敗した違和感をご本人はわかり、手を入れるなどの動作が見られるので、早目の促しをし、トイレで出来ると機嫌も良いようなのでこの努力を続けていく。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	オリゴ糖使用したり、水分確保・排便カウント等を行い、便秘予防に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ある程度の曜日などは決まっているが、本人の希望があれば対応します	ある程度の入浴する曜日は決まっているが、本人の希望があれば対応している。最低週2回は入って頂くことを目標とし、後は希望があれば自由に入っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、気持ち良く休息して頂く為、日中散歩やレクレーション等の活動を増やし安眠に繋げている。又、夜間、眠れない方はTVを見て過ごしたり、リビングで過ごしたりとリラックス出来る様、支援している			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ全員が分かるように、個人ファイルにも処方一覧あり、共有しています。症状変化があれば、医師に相談、報告している			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時の聞き取りやアセスメントにて情報収集し、好きな事をやりながら、楽しく生活できるよう支援している。本人にあった役割を負担にならないよう心掛け、提供支援している			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	行事に個人外出等も計画し、実施。バザー・敬老会などの行事・誕生会など、家族参加して頂けるよう、支援している	ホームの行事に個人外出等も計画し実施している。また、バザー・敬老会等の行事、誕生会に家族が参加して頂けるよう支援している。ADLがおちて外出が難しくなっても出来る限り外気にふれるよう努めている。		今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	その人の能力に合わせ管理出来る人には支援している。又、紛失する可能性もある事を家族に理解して貰っている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人との繋がりが途絶える事が無い様、能力に応じ、支援している。友人・知人・家族に電話している。利用者様もしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度・音・光を調節している。利用者と一緒に作った作品や季節事の折り紙やディスプレイや外出先でのスナップや各行事ごとのスナップ写真を飾っています	居心地のよい空間作りとして、「温度・音・光」で調節を図っている。利用者と職員と一緒に作った作品や季節事の折り紙、ディスプレイや外出先でのスナップ、各行事ごとのスナップ写真を飾って生活感が溢れるように務めている。また、季節を感じる細かい工夫の配慮がなされている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	狭い空間の中で工夫している。又、テーブルメイト調整なども行っている。ソファを設けゆっくりとくつろげる。場所として活用して貰っている。なかよし同士各居室で会話を楽しんでいます		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、新しいものでなく、使い慣れた物を持って来てもらうよう話している。又、その事の意味もお話している。急激な環境変化なくスムーズに生活できる様、工夫している	入居の際に使い慣れた物を持って来てもらうよう話し、その意味合いを促し配慮している。また、急激な環境変化なくスムーズに生活できるよう誘い工夫をしている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	常にスタッフに伝え、把握に努め自立出来る様、支援している。トイレの手すり、設備行い、スムーズに失敗なく排泄できる様工夫したりしています		

事業所名	グループホームゆりの花
ユニット名	2ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は玄関に掲げており、ケアプラン作成時も理念を基本に考えていくようスタッフと話し合いをしている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	商店街の一角にあるため、日々利用者と買い物に出掛けたり、地域の行事・盆踊り・祭りの参加ゴミ集積場の清掃当番も行っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学校の体験学習の受け入れを行ったり、事業所会議で民生委員や利用者ご家族の相談や質問に応じている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではバザー報告や他事業所への訪問など実施している事など報告し、意見交換しながらサービスの向上に努めている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	不明な点等があれば、その都度連絡し、指示を仰いでいる。特に生活保護者の状況や特変などを随時報告し、協力関係を築くよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日中、外出願望があり、いつ外に出て行ってしまいか分からない状態であっても、玄関は施錠していない。排泄介助時に暴力のある利用者の対応についても何度もカンファで話し合いながら精一杯の声掛けや待つ介護を実施している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に職員は参加し、意識を高める努力をしている。言葉の虐待が見過ごされることがない様、注意している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	責任者は研修で学ぶ機会があるが、職員については実施出来ていない。今後、研修等を活用して理解を深めていきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	おこづかい帳の物品の値段の変動があれば、利用者・家族へ、その理由を記入して郵送している。契約書と重要事項説明書は見学時、入居時に必ず確認している。また、介護保険料の改定のあった時はその都度おたよりを出し同意書を取っている。また、家族会の時にも説明し、理解、納得を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	敬老会の時に家族会を開き、ご家族から要望や意見を聞いている。また、運営推進会議でもご家族に参加して貰い、積極的に運営に反映させている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のカンファレンス、主任会議・業務運営会議等で、委員会や夏祭りバザーなどの行事や個別対応での食事会など職員の意見を取り入れ反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的に面談を行い、給与体や労働時間・やりがいなどを聞く場を持っている。資格取得に向け会社で支援制度や、研修制度を設け職場環境の整備に努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の機会を積極的に与えて頂ける。又、研修にかかった交通費・研修時間は時間給として頂ける。カンファで、研修発表をして、職員の力量を高めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横須賀市・神奈川県協議会に参加し、役員を行うことにより、研修や同業者と交流する機会を積極的に作っている。また、職員交流が他事業者との間で頻繁に実施されている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアプラン立ち上げシートやアセスメント表を使いながら、生活歴や不安な事、希望など情報収集し、カンファレンスで支援の方法を考え信頼関係づくりに努力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安をしっかりと見据えた報告・連絡をしやすいような雰囲気づくりを常に考えている。また、ケアプラン更新時には必ず確認している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族がまず必要としている支援を見極めることに重点を置いてインテークしている。入居前に時間をかけ、本人や家族と話し合い接する事で見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	集団による力を認め合い、自立支援を常に考えながら、潜在能力を引き出し、出来る所を増やすように努力している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の要望も受け入れつつ、遠方によりあまり面会に来られないご家族には、出来る限り来所して頂けるように努力している。また、日々の様子が分かるようにお便りを送っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホーム側から日々の様子を伝えたりする事により、利用者の昔からの友人が途切れる事無く、面会に来られている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の関係を改善するため、スタッフがその場に合った調停役を務める様支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了してもこちらから連絡したり、サービスを終了した利用者のご家族がホームの様子を見に来て下さる。その時にその後の経過、様子を聞いて相談や支援に努めている		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者のトイレが近い場合などは、居室の変更もしている。牛乳・コーヒー等を特別に希望される利用者には時間に関係なくお出ししたり、散歩・買い物にも本人の希望に合わせて行っている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者との会話の中で生活歴など把握している。ご家族には電話や面会時に情報収集し、生活歴の記入用紙には随時書き残すようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝のバイタルチェックを通じて、体調管理に始まり、散歩・買い物好きな利用者やTVの相撲番組好きな利用者など現状を把握している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のカンファレンスで職員の意見やアイデアを反映しながら、本人や家族の協力も得て、介護計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個人記録・温度版に記入している。気づきや工夫・利用者の特別な変化等は業務日誌に記入し、共有している。それを実践し、計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフと一緒に夕食や映画鑑賞・ボランティアによる車椅子ダンス参加など取り組んでいる。また、集団外出だけでなく、一人ひとりの利用者に応じた個人外出を取り入れている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩は川で泳いでいる鯉を見に出掛けたり、活気のある商店街で魚のたたき売りを見ながら楽しむ事が出来る様、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の希望を確認し、入所時の病院をかかりつけ医として希望されるようなら、そのように支援している。話し合いにより納得されホームでのかかりつけ医（同じビル内の病因）を希望される方も多い		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の看護職員が勤務し、利用者の様子を報告し相談している。また、バイタルチェック・医療的な処置を中心に行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、服薬や個人記録を持参し、病院関係者と情報交換している。退院は出来るだけ早期にと希望を伝えたり、GHでの生活についての情報を医師に面談し、聞いている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	年1回のご家族への書面でどのような看取りを希望されるかを確認している。また、状態の変化があればその都度確認している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎月1回防災訓練を実施している。防災委員会も各ユニットで1名ずつ担当者が選出され、機能している。また運営推進会議でも地域の方を含め防災訓練を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練で身につける様努力している。又、商店街の一角にあるので、人通りも多く商店街の協力もお願いできるよう努力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳を守り、丁寧な言葉掛けをしている。プライバシーに関することは小声で話したり、居室で対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	こちらから指定するのではなく、本人が選択できるような会話で自己決定に繋げている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者それぞれのペースを大切に出来る限り希望にそった支援をしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出着の着替えや帽子など選んで頂いている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食材の皮ムキ・盛り付け・洗い物・片付けをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者4名の1日の水分量を計測している。食べる量・栄養バランスを考えて食事を作っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	電動歯ブラシ・ハミングッドなど多彩な用具を用いながら一人ひとりに合わせた口腔ケアをしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつ使用の利用者に日中トイレ使用を声掛けを実践している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	オリゴ糖をポカリゼリーに混ぜ10時のお茶に出している。又、野菜ジュースなどで自然排便を促している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日はとりあえず決まっていますが、利用者の希望に沿って柔軟に対応しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後は一人ひとりの状況に応じて居室で休息するように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の目的・副作用・用量について理解している。服薬支援と症状の変化に注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	コーヒー好きな方には10時のお茶にコーヒーを出している。洗濯物たたみや片付けなど、家事分担をお願いしている。又、毎日体操の時間や散歩の時間を作っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り毎日散歩に行ける様、努力している。時には喫茶店や買い物に出掛けられるよう支援したり、日常的ではないが、外食好きな利用者はスタッフと一緒に外食をしている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	商店街でレジで利用者自身に並んで頂き、利用者の好きな食べ物を自ら購入している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望があれば、ホームの電話を使い自ら掛けている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには大きな窓があり、日の光が入ってくる。毎日、清掃を欠かさず、ゆったりと自由に使っていただき、壁や居室のディスプレイも季節感を出すために工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにある食卓から少し離れた所に、二人掛けのソファとテーブルベンチがあり、ソファから通りを眺めて過ごす事が出来るようにしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前使っていたダンスや仏壇が置いてある。又、生け花の会で自ら生けた花を飾っている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	大き目のカレンダーや時計があり、新聞もとっている。居室の物干しぎおに低めひして、利用者が手伝いやすくしている		

# 目 標 達 成 計 画

事業所      グループホームゆりの花

作成日      平成21年11月17日

〔目標達成計画〕

優 先 順 位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内 容	目標達成に 要する期間
1		理念について話す機会はあるが、見直したり声に出したりする機会が無い	スタッフ全員が理念について理解し、取り組んでケアが出来る	年に一回は事業所理念について検討する機会を設ける。又、カンファレンスなどで声に出し復唱する	1年間
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。